

かわむらこどもクリニックNEWS

Volume 21 No 10

243号

平成25年10月 7日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

4年生の性教育が授業に

院長

昨年10月号に掲載した、小松島小学校「性教育親子PTA行事」が、今年度から授業に格上げされました。

今から6年前2007年に、4年生の「新・みんなのほけん3・4年」、「育ちゆく体とわたし」を担当と一緒に授業を担当しました。校内研究授業で、校長始め、学年主任から高く評価され、全クラスの授業を依頼されました。忙しさを理由に断りましたが、PTA役員の強い熱意に押し切られた形で、2008年から親子PTA行事「親子で学ぼう『いのちのつながり』」として継続しています。

さて今年とは考えていたところ、3月に校長から「PTA行事は、毎年その年度ごとに内容が違います。川村先生の「いのち」「性教育」は、4学年児童の学習にとっても有効であり、毎年必ず聞かせたい講話です。そこで、体育(保健)の教科の時間に設定し、今までと同様に保護者と一緒に学習することによって家庭内でも「いのち」、「性」に向き合う素地を作り上げたいと考えたため、授業として扱うこととしました。」と伝えられました。

確かに、PTA行事は同じテーマで継続されるとは限りません。担当者の意識が違えば、ある日突然消滅してしまうかもしれません。6年間も続けてきたことが、突然中止となることはとても残念なことです。当院は開業以来、『お母さんの不安・心配の解消』の理念を掲げて、様々な活動に取り組み、学校医活動もその一つです。取り組む姿勢として、常に「継続は力なり」を座右の銘にしています。そんな時に、校長から“児童の学習にとっても有効であり、毎年必ず聞かせたい講話です。”と校長の理解を得たことが、どれだけうれしかったかは想像してください。

授業は、9月19日(木)5～6校時に、特別活動室で4学年の児童と保護者の参加(教職員・教育委員会含120名)で開催しました。内容は従来のPTA行事と同様で、5校時目は保護者同席での、命の大切さを伝える「赤ちゃんはどこからくるの」、6校時は保護者対象の講話です。保護者対象の講話では、事前に質問を受け、その質問の解説から話を広げていきました。今年の役員は熱心で、事前に、風疹、帯状疱疹、夜尿症、子宮頸がん予防ワクチン等の質問が寄せられました。

「赤ちゃんはどこからくるの」の詳細は、CLINIC NEWS(2012年10月号)、ブログ「こどもクリニック四方山話」をご覧ください。

保護者への講話では、PTA役員の熱意と、“先生の生い立ちを話してください”とのリクエストから、新たにスライドを作って臨みました。誕生の頃の写真、研修医時代のパンチパーマ姿は、大きな笑いが渦巻く始まりとなりました。続いて、質問の一つ一つを紹介し、解説する流れとなりました。そして、クライマックスは「命の大切さ」を伝えることの意義です。「ある悲しい出来事」として、日齢4新生児死亡搬入のケースを紹介しました。19歳独身女性が、自宅アパートで独りで出産し、次第に弱々しくなっていく赤ちゃんのそばで何もできずに過ごし、4日目に死亡した赤ちゃんを抱っこして連れて来たというものです。この悲劇から、問題点を浮き彫りにして、「人の命とは」、「命の大切さとは」を、改めて考えるための場としました。身近な現実だけに、お母さんたちに与えた衝撃はかなり大きいものだったようで、あちこちからすすり泣く声が聞こえてきました。開業医に死亡新生児が搬入されることは、極めてまれです。目に見えない大きな力が働き、辛い経験を与え、命の大切さを伝導する使命を与えられたのでしょうか。新生児医療では、生後間もなく亡くなる赤ちゃんは珍しくはありません。そんな赤ちゃんが生まれてきて死ぬことの意味をいつも考えていました。その意味を考えることが、この世に生を受けた命に対しての我々大人たちの役割です。

最後に参加した母親の感想を紹介します。「子供と一緒に、いのちについて(性について)のお話をうかがうのは、はずかしいかと最初は思ったのですが、先生がわかりやすく、楽しくお話しして下さったので、子供たちも照れることなく真剣に聞いていたのがとてもよかったです。保護者のみのお話では、赤ちゃんの死がやはりショックでしたが、命について考えられてよかったですと思います。ありがとうございました。」「家庭の中から、幼少のうちから、命の大切さを話題にしたり、教えたりすることは大切な性教育だと私も思います。子供はまっすぐに話すとまっすぐに受け止めてくれます。性を考えることは命を考えること。自尊と他尊の心を育むことでいじめや差別が少しでもなくなることを信じています。」

授業は、性教育といいながら、「命の大切さ」がメインテーマです。「命の大切さ」を伝えることは、自分自身だけでなく、他人のことも考えることにもつながります。親子揃って聞いてもらうことは、話しにくい性教育の話題が食卓に上り、親と子のかかわり合いの大切さを考えるきっかけになればと思います。このような小学生に対する活動が広がり、虐待やいじめ防止につながることを願って止みません。



10月のお知らせ

・診療時間変更のお知らせ

10月5日(土) 休診
東北・北海道小児科医会連合会(札幌)
ご迷惑をお掛けしますが、ご協力を!

・栄養児相談

10月9、23日(水) 13:30～
栄養士担当 参加無料



『がんばろう! 宮城 がんばろう! 日本』
“みんなでやれば、大きな力に”

読者の広場

先月は、ちょっと少なくわずか3通でした。まずは9月に開催された『お母さんクラブ』、「あなたは大丈夫？子どもの救急蘇生！」に参加した、青葉区の及川さんからの感想。「先日、お母さんクラブ「救急蘇生講座」に参加しました及川です。お友達のお母さんから声をかけてもらい、子供同席可で時間帯もちょうど良く、会場も近い、子供の散歩ついてにいいなあと思い参加しました。心臓マッサージ、人工呼吸、AEDの使い方、はじめての実践でした。いや、十数年前の自動車免許取得時に講習があったでしょうか？でも、何をしが全く記憶にありません……。恥ずかしながら、これじゃ、何があった時になんの役にもたちませんよね。本当に実践できて良かったです。はつきりいつうまくはできませんでしたが。心臓マッサージ30回、結構息があがります……。人工呼吸2回、うまく息を吹き込めません……。AED、器械がしゃべってくれるも「本当にこれでいいの？」不安です……。でも、実践するのとしなないとでは、やっぱり違います。ほんの少しだけ自信がついた気がします。参加者が少なかったのは、もったいないなあと思いましたが、おかげで、何回も練習できラッキーでした。でも、1回ではまた忘れてしまいそう……。来年、またこのような講座があれば参加したいと思います。今日の講座で強く頭に残ったこと。「心肺蘇生をなんのためにやるか」ということと「心臓マッサージだけでもやるのが大切」ということ。これを知れただけでも、良かったなあと思います。講座を開いてくれた川村先生、病院の方々、教えてくれた救急隊員・鎌田さん、声をかけてくれたお友達のお母さん、みんなに感謝です。ありがとうございました。子供と一緒に楽しみながら勉強できました。長々と失礼しました。次回予防接種には、またよろしくお願ひいたしますね、川村先生。まさにその通りですね。参加が少なくもったいない感じです。でも、少なかった分だけ濃厚な体験が出来たはずですよ。今年参加できなかった方、もちろん参加した方も、来年是非ご参加下さい。



皆さん、クリニックのFaceBookページご存知ですか。このページに写真を掲載させてもらった青葉区の早坂さんからです。「川村先生おはようございます！昨日はありがとうございました。昨夜は37.8℃まで上がりましたが今は平熱に下がりました(*^_^*) ちょっと咳は残ってますが元気です！写真どうぞ～お使いください(^_^)/夏休みに京都から来たお友達と観戦したときの写真です!! 真奈は、自慢気にお友達に教えてました(≧▽≦) 私も嬉しかったです(*^_^) 優勝街道まっしぐらの東北楽天～沢山のうけに支えられていますね!! これからも益々目が離せません(*'▽')先生～今日も1日頑張ってください(^_^)/いつもありがとうございます!」。写真の掲載、ありがとうございます。クリネックススタジアムの夏スタ! パートナーのボードで「かわむらこどもクリニック」を見つけてよろこんでいる子どもたちの写真です。名前を見つけてよろこんでくれる、それがかけつけの患者さんですよ。これからもF.B. ページを使って更なるコミュニケーションをと思ひます。文書・写真の投稿大歓迎です。よろしく、お願ひします。

インフルエンザワクチン予約開始

13歳未満2回 13歳以上1回

料金(1回) 3150円(消費税込)

インフルエンザのワクチンの季節になりました。早い接種は免疫の持続に問題があるので、10月21日(月)から接種を始めます。早めの予約をお願いします。

7月から水痘・おたふくワクチン公費助成開始

仙台市では、仙台小児科医会、仙台市医師会の要望により、上記ワクチンの公費助成が始まりました。

対象:1歳~3歳未満(誕生日前々日)

開始時期:平成25年7月

助成回数:各々1回分(追加としての接種も可能)

負担額:

水痘 4000円 おたふく 2500円

支払い:窓口で負担額分をお支払いください。

予防接種委託料分5230円が助成されています

詳細は、右上QRコードで仙台市HPへ



成人に対する風疹予防接種費用の全額助成開始

仙台市で、風疹ワクチンの全額助成が始まりました。

対象:接種時に仙台市在住で、(1)、(2)に該当

(1) 妊娠を希望、予定する19歳~49歳の女性

(2) 妊婦の夫(婚姻関係は問いません)

助成額:接種費用の全額(但し、上限10,000円)

MR(麻しん、風しん混合)ワクチン又は風しん単

独ワクチン

助成対象期間:H25年4月1日~H26年3月31日

支払い:9月から窓口無料(9,000円)になります。

ワクチンの不足が懸念されているため、当面はかけつけ患者さんを優先します。詳細は、右上QRコードで仙台市HPへ



Mail News, Twitter, Blog, Facebook の紹介

Mail News は、440人を越えるお母さんが登録。下のQRコードから登録できます。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。

新しい情報発信としてTwitter、Blog「こどもクリニック四方山話」、Facebookページ、YouTubeにも取り組んでいます。子育て、医学、趣味、グルメ、旅行記等のおもしろい話題満載。見るだけでも楽しいかもしれません。是非ご覧ください!

Mail Newsかなり戻ってきます。届かない場合はkodomoclinic.or.jpをドメイン指定して下さい。不明な点は受付まで問い合わせ下さい。



MailNews



Twitter

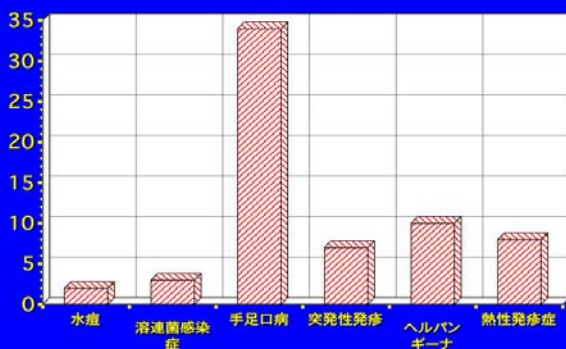


Blog



Facebook

9月の感染症の集計



手足口病の全国的な流行を受け、今月も2倍に増加しています。先月増加したヘルパンギーナは半分程度に減少しました。しかし下旬から季節の変わり目による喘息の増加が目立ち、同じような症状を示すRSウイルス感染症も増加しています。

編集後記

小松島小学校で、6年間続けてきた性教育が、授業に格上げされました。何事も続けることの大切さを改めて学んだ気がしました。しかし、校医だけの力では無く、校長、養護教諭、そして保護者の理解と力添えのお陰です。健康教育は、どの小学校でも行われているものではありません。この時期から「命の大切さ」に触れることができる親子は、きっと幸せだと思います。



K's clinic

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』 『お母さんクラブ』現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。!!